

EDINET更改に係る提出者向け説明会 資料

2022年10月

金融庁 企画市場局 企業開示課



Financial Services Agency, the Japanese Government

目次

1	はじめに	...	2
2	開示書類等提出に関する変更点	...	6
3	その他変更点	...	22
4	提出者向け操作試行のご案内	...	29
5	スケジュール等	...	37

1.はじめに

提出者向け説明会の概要

EDINETはシステム更改を進めており、2023年1月4日(水)に次期EDINETが稼働する予定です。本説明会では、システム更改に際し、開示書類等提出に関する変更点、2022年11月から12月に実施する「操作試行」についてご説明します。

■ 対象者

開示書類等提出者

■ 説明会開催日時

- ・ 2022年10月14日 (金) 15:00 – 16:00
- ・ 2022年10月21日 (金) 15:00 – 16:00

※両日ともに内容は同じです。

■ 説明会資料

ご覧いただいている本資料は、現行EDINETトップページからダウンロードできます。

ご質問方法

- チャット機能から、ご質問内容を投稿してください。
- ご質問の際は、「所属団体名称 姓」の記載をお願いします。



ライブイベントのQ&Aから、
「質問を入力」をクリック

質問内容を記載の上、送信してください。
※本説明会では、モデレーターによる承認は行わず、
質問内容は、セミナー主催者にのみ共有されます。

- 当庁からの説明終了後、お寄せいただいた質問へ回答します。質問に対する回答は、本日回答できなかった分を含めて、後日現行EDINET（提出サイト）に掲載します。なお、ご質問者に関する情報は掲載しません。
- チャットへの投稿は、説明会開催時間内をお願いします。

次期EDINETの主な変更点

次期EDINETでは、利便性の向上、セキュリティ強化を行います。
機能については、基本的に現行EDINETを踏襲します。

1

利便性向上

閲覧トップ画面への簡易検索機能の配置、CSVをダウンロードする機能の追加など、利便性を向上します。

2

セキュリティ強化

多要素認証の導入、パスワードの安全性強化など、セキュリティを強化します。

3

現行機能の踏襲

一部の機能追加、削除を除き、提供機能の変更はありません。
EDINETコード、ユーザID、メールアドレスはそのままご利用できます。

次期EDINETの主な変更点

2. 開示書類等提出に関する変更点

開示書類等提出に関する変更点

本節では、次の内容について説明します。

■ 操作に関する変更点

- URLの変更
- EDINET利用時の操作環境
- 多要素認証の導入
- パスワードの安全性強化

■ 提出に関する変更点

- 書類閲覧期間の延長
- 監査報告書の画像使用対応
- 発行登録書提出における入力内容の変更

URLの変更

Web サイトのURLを変更します。

※2023年1月4日(水) 8:00以降、利用可能となる予定です。

利用者	現行EDINET (変更前)	次期EDINET (変更後)
開示情報 利用者	https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/	https://disclosure2.edinet-fsa.go.jp/
開示書類 等提出者	https://submit.edinet-fsa.go.jp/	https://submit2.edinet-fsa.go.jp/

- EDINET APIのURLは、次期EDINET稼働時点では変更ありません。

EDINET利用時の操作環境

■ 端末要件

次期EDINETでは、次の環境で動作確認を行っております。
Web ブラウザに「Google Chrome」を追加します。

OS	Windows 10
Webブラウザ	Microsoft Edge Google Chrome

- Microsoft Edgeを使用する際に、Internet Explorer モードを設定する必要はありません。

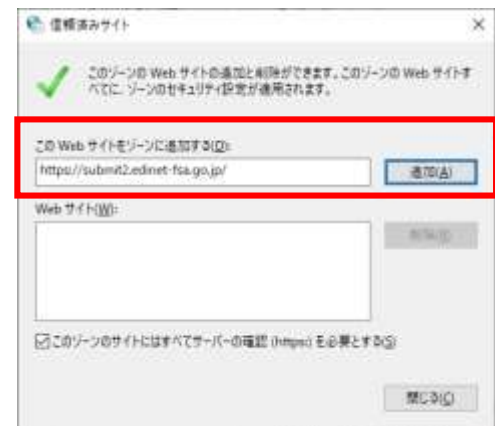
EDINET利用時の操作環境

■信頼済みサイトの登録

インターネット オプションを起動し、下記の URL を信頼済みサイトに登録してください（※）。

- 開示書類等提出者のホームページ（提出サイト）
<https://submit2.edinet-fsa.go.jp/>
- 開示情報利用者のホームページ（閲覧サイト）
<https://disclosure2.edinet-fsa.go.jp/>

※ インターネットオプションの起動は、スタートメニューの「Windows システム ツール」から「コントロール パネル」を起動し、「インターネットオプション」をクリックします。



(画像出典: Microsoft Windows)

EDINET利用時の操作環境

■フィルタリングソフトの設定

フィルタリングソフトを導入している場合で、EDINET に書類を提出するときは、次のURLにアクセスできるように設定してください。

- EDINET

<https://submit2.edinet-fsa.go.jp/>

<https://disclosure2dl.edinet-fsa.go.jp/>

- セコムトラストシステムズ

<https://repository.secomtrust.net/>

多要素認証の導入

■多要素認証機能

セキュリティ強化のため、提出サイトへのログイン時にID/パスワードによる知識認証に加え、電話を利用した多要素認証の機能を追加します。

要素の種類	概要
携帯電話及びスマートフォン (音声)	携帯電話及びスマートフォンへの自動音声通話が発信される方式。テンキーで#を入力することで認証が完了します。
携帯電話及びスマートフォン (SMS)	携帯電話及びスマートフォンへのSMSで認証コード(6桁)が通知される方式。通知された認証コードを認証コード入力画面に入力することで認証が完了します。
固定電話(音声)	固定電話への自動音声通話が発信される方式。テンキーで#を入力することで認証が完了します。

多要素認証の導入

■多要素認証の操作イメージ

多要素認証画面の表示

①



ログイン後に表示される多要素認証画面で、国番号及び電話番号を入力します。

SMSでコードを受け取る場合は「コードの送信」をクリックしてください。

電話で認証を行う場合は「電話する」をクリックしてください。

SMSでコードを受け取る場合



「コードの送信」の場合は、①で入力した電話番号宛に、確認コードがSMSで送られてきます。

③



確認コードが送信されると、多要素認証画面に確認コード入力欄が表示されます。送られてきた確認コードを入力し、「コードの確認」をクリックしてください。

電話で認証を行う場合



「電話する」の場合は、①で入力した電話番号宛に、電話がかかります。



電話から流れるガイドに沿って電話で操作を行ってください（テンキーで#（シャープ）キーを押してください）。

多要素認証の導入

■登録する電話番号について

- マスタユーザ・サブユーザともに、次期EDINETの初回ログイン時に表示される「多要素認証画面」において電話番号の登録が必要となります。
- ひとつのユーザIDに対し、登録できる電話番号はひとつです。
- 登録作業は1分から2分で完了します。書類を提出するにあたり、スムーズに作業が行えるように余裕を持って登録をお願いします。
- 登録した電話番号は継続して利用できます。なお、ご自身の操作で変更することができます。
- 海外の電話番号も利用できます。

多要素認証の導入

■多要素認証の操作に関する留意事項

- ログインの度に多要素認証が必要です。
- 電話で認証を行う際、電話での操作を行う前に電話を切ってしまった場合、又は「話し中」であった場合は、多要素認証画面の「キャンセル」をクリックし、再度「電話をする」をクリックしていただく必要があります。
- SMSで受け取るコードは、ワンタイムコードで毎回異なります。コードの有効期間内（発行から約150秒）にコードの入力をお願いします。有効期限内に入力をしなかった場合、コードを再発行する必要があります。
- 登録した電話への発信元番号は固定ではありません。

パスワードの安全性強化

■パスワードの入力規則変更

◆ パスワードの文字数

12桁以上32桁以内

最低桁数を「8桁以上」から「12桁以上」に変更

◆ パスワードの文字種

半角文字（数字、英字、記号のみ使用可）で設定し、半角数字、半角英字、半角記号は必ず一つ以上使用してください。半角カタカナは使用できません。パスワードに使用可能な文字は以下となります。

1234567890 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz
' ~ ! @ # \$ % ^ & * () _ + - = { } | [] ¥ : " ; < > ` ? , . /

◆ 制限事項

新パスワードには、次の設定はできません。

- ・ 前回使用時と同一のパスワード
- ・ 繰り返し文字（同一文字（小文字、大文字は別文字として扱います。）が連続したものが含まれるパスワード（例：uuRS36-s）
- ・ ユーザIDが含まれるパスワード
- ・ パスワードとして使用が禁じられている単語が含まれるパスワード

禁止単語は以下。

edinet, EDINET, fund, FUND, password, PASSWORD, test, TEST, passwd, PASSWD, qwerty, QWERTY, 1qaz2wsx, 1QAZ2WSX

パスワードの安全性強化

■ 初回ログイン時のパスワード変更

次期EDINET稼働後、初めてログインする際は、パスワードを変更する必要があります。新しいパスワードの入力規則に従ってパスワード設定してください。

パスワード変更画面	
現在のパスワード
新パスワード
新パスワード (確認)

パスワードの入力規則

- ・パスワードは、12桁以上32桁以内の半角文字で入力

- 現行EDINETで12桁以上のパスワードを使用している場合も、次期EDINET稼働後の初回ログイン時にパスワードの再設定が必要です。

書類閲覧期間の延長

有価証券報告書、四半期報告書及び臨時報告書の閲覧期間を延長します
(企業内容等の開示に関する内閣府令にかかる以下の書類のみ)。

書類名	閲覧期間
有価証券報告書	5年→ 10年
四半期報告書	3年→ 10年
臨時報告書	1年→ 2年

提出日時	提出書類	コード	提出者/ファンド	発行/対象	PDF	XBRL	CSV	備考
2017/06/30 15:00	有価証券報告書-第104期 (2016/04/01-2017/03/31)	E37261	株式会社エディネット		PDF 表示	XBRL	CSV	法定縦 覧期間 満了書 類

閲覧期間の延長を行った書類は、閲覧サイトの検索結果画面の備考欄に「法定縦覧期間満了書類」と表示します。

※書類閲覧期間の延長は、法定縦覧期間満了後も一定期間、行政サービスの位置づけで閲覧を可能とするものです。
そのため、提出会社による記載内容の訂正が、法定縦覧期間内の開示書類と同様には行われません。

書類閲覧期間の延長

■書類閲覧期間の延長に関する留意事項

- 今後提出される書類のほか、既に提出された書類についても、次期EDINET稼働時点（2023年1月）から、延長期間中の書類の閲覧が可能です。ただし、四半期報告書のうち、文書保存期間が満了している書類は閲覧することができません。
- 書類閲覧期間の延長は、行政サービスとして実施するものであり、現行の法令・制度等を変更するものではありません。このため、訂正報告書の提出に関しても、従来の考え方から変更ありません。
- 企業内容等の開示に関する内閣府令に係る書類が対象です。他の内閣府令に係る書類は延長の対象外です。

監査報告書の画像使用対応

監査報告書（監査上の主要な検討事項）に画像を使用できるように変更します。



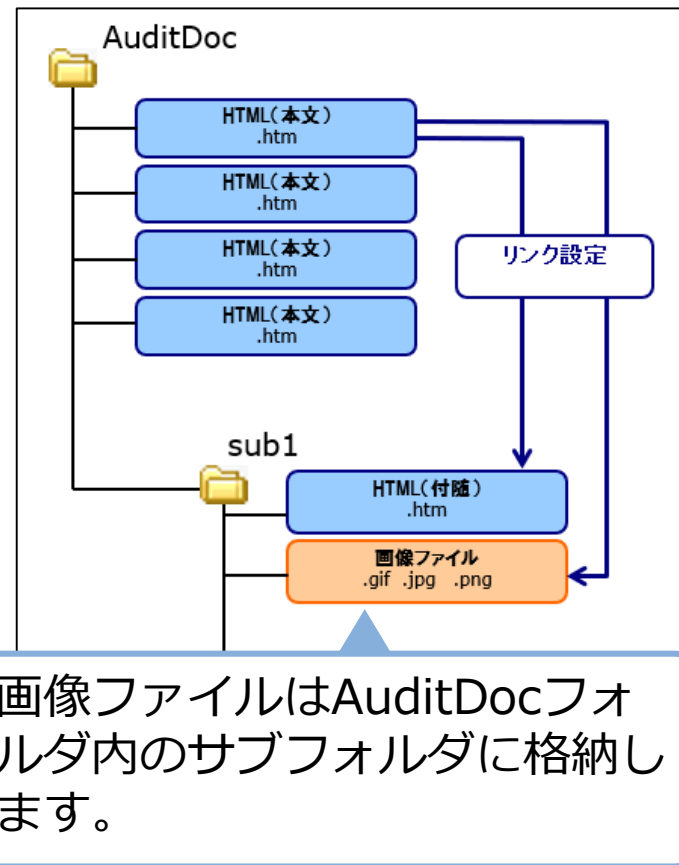
提出本文書 **監査報告書**

監査報告書

監査上の主要な検討事項

監査上の主要な検討事項とは、当連結会計年度の連結財務諸表の監査において、監査人が職業的専門家として特に重要であると判断した事項である。監査上の主要な検討事項は、連結財務諸表本体に対する監査の実施過程及び監査意見の形成において対応した事項であり、当該監査人は、当該事項に対して個別に意見を表明するものではない。

画像ファイルを使用できるようになります。



発行登録書提出における入力内容の変更

発行予定期間入力画面の「発行予定期間」の入力を、「期間（年）」から発行予定期間の「開始日から終了日」に変更します。

発行登録書の表紙に記載する「発行予定期間」を入力してください。

現行

発行予定期間入力画面		
発行予定期間を選択し、「本登録」を押下してください。		
書類管理番号	S10004DN	
府令	企業内容等の開示に関する内閣府令	
様式名	発行登録書	
様式(号)	第十一号の二の二様式	
区分	新規	親書類管理番号
書類提出担当者	開示 正二	
書類状態	確定済	

次期

発行予定期間入力画面		
発行予定期間を選択し、「本登録」を押下してください。		
書類管理番号	S100N75W	
府令	企業内容等の開示に関する内閣府令	
様式名	発行登録書（株券、社債券等）	
様式(号)	第十一号様式	
区分	新規	親書類管理番号
書類提出担当者	財務 太郎	
書類状態	確定済	



本文 (PublicDoc)	0000000_header.htm 0101010_honbun.htm
非縦覧本文 (PrivateDoc)	0000000_header.htm 0101010_honbun.htm
代替書面・添付文書 (AttachDoc)	添付文書 qualified.htm
代替書面・非縦覧添付 (PrivateAttach)	非縦覧添付文書 0000000_810_ininjouyou.pdf
発行予定期間	年

代替書面・添付文書 (AttachDoc)	タイトル 別添送付条件を満たしていることを示す書状	ファイル名 qualified.htm
XBRL文書 (XBRL)	ファイル名	PublicDoc/0000000_header_gorp110000-ns-001_E37443-000_2021-06-21_01_2022-07-20_xbrl.htm
	PublicDoc/0101010_honbun_gorp110000-ns-001_E37443-000_2021-06-21_01_2022-07-20_xbrl.htm	
	PublicDoc/gorp110000-ns-001_E37443-000_2021-06-21_01_2022-07-20_xbrl.htm	
	PublicDoc/gorp110000-ns-001_E37443-000_2021-06-21_01_2022-07-20_xbrl.htm	
発行予定期間	2022/7/20	2022/10/31

「発行予定期間」の入力内容を「年」から「開始日から終了日」に変更。

3.その他変更点

その他変更点

本節では、次の内容について説明します。

- カレンダー入力、西暦表示
- 画面の統合（検索結果）
- 確認画面のポップアップ化
- 「メニューに戻る」の変更

カレンダー入力、西暦表示

年月日の入力方法をカレンダーから選択できるようにします。

暦年表示を西暦に統一します。なお、提出された書類の暦年表示に変更を加えるものではありません。

現行

和暦入力 西暦入力
 令和 2022年 4月 1日 ~ 令和 2022年 6月 30日

次期

過去日指定 範囲指定
 2022/04/01 ~ 2022/06/30

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

カレンダーから日付を選択することもできます。

現行

提出者種別	外国政府等
設立日	平成30年12月14日

次期

提出者種別	外国政府等
生年月日/設立日	2018/12/14

暦年表示を西暦に統一

カレンダー入力、西暦表示

■カレンダー入力、西暦表示に関する留意事項

- 書類提出時のヘッダ入力における報告書事業年度入力は、西暦に統一します。
- 提出書類に記載する暦年については、従来どおり和暦又は西暦で記載できます。

画面の統合（検索結果）

ファンドコード検索画面等、検索結果画面に遷移していた画面を統合し、検索結果は検索条件入力部分の下部に表示し、画面遷移しないように変更します。

現行

検索条件

検索条件を入力し、「検索」を押してください。

検索条件

発行会社: EDINET株式会社

ファンド名(部分一致)

ファンド名(完全一致)

検索

クリア

次期

検索条件を入力し、「検索」を押してください。

検索条件

発行会社: EDINET株式会社

ファンド名(部分一致)

ファンド名(完全一致)

検索

クリア

選択するファンドの「選択」をクリックしてください。

選択	ファンドコード	ファンド名	特定有価証券区分
<input type="checkbox"/>	G14451	EDINET新債ファンド	内国債員債社債証券
<input type="checkbox"/>	G14455	EDINETスーパーファンド	内国債員債社債証券
<input type="checkbox"/>	G14449	ワールドオープンEDINETファンド	内国債員債社債証券
<input type="checkbox"/>	G14448	レッドエディネットスーパーファンド	内国債員債社債証券
<input type="checkbox"/>	G14447	EDINETスベイン株式ファンド	内国債員債社債証券

戻る

検索結果

検索条件

発行会社: EDINET株式会社

ファンド名

ファンド名(完全一致)

検索結果(部分一致) (1/1)

ファンドコード	ファンド名	特定有価証券区分
G10478	EDINETスベイン株式ファンド	
G10456	レッドエディネットスーパーファンド	
G10000	ワールドオープンEDINETファンド	
G10008	EDINETスーパーファンド	
G10064	EDINET新債ファンド	

戻る

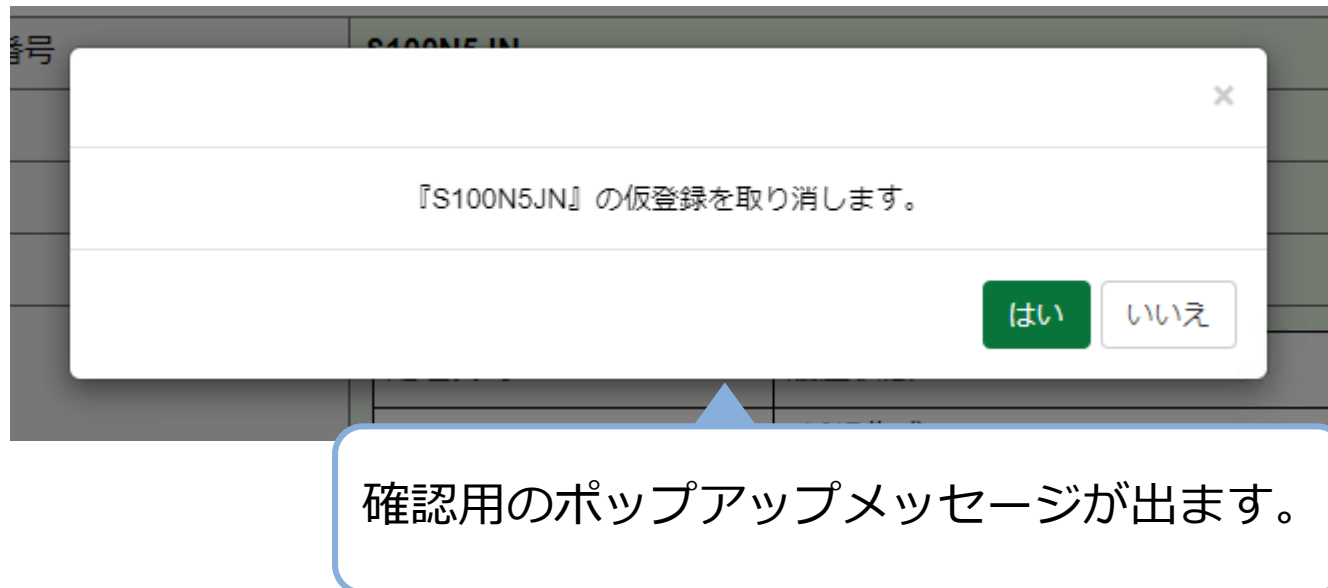
クリア

画面統合

確認画面のポップアップ化

現行EDINETでは、変更、削除などの操作を行う際に、操作を確認する画面に遷移してから処理を行っていました。

次期EDINETでは、変更、削除などのボタンを押下した際に、画面遷移はせずに、確認用のポップアップメッセージを表示するように変更します。



「メニューに戻る」の変更

共通メニューの「メニューに戻る」の代わりに、左上のサイトロゴで提出用メニュー画面に戻るよう変更します。

現行



▶ [メニューに戻る](#)



次期



4.提出者向け操作試行のご案内

提出者向け操作試行のご案内

システム更改に先立ち、次期EDINETでの提出操作の確認を行いたい方のために、提出者向け操作試行を2022年11月15日(火) から2022年12月9日(金)の期間に実施します。

■ 対象者

2022年9月16日(金)時点で、現行EDINETのEDINETコードをお持ちの方

提出者向け操作試行のご案内

■参加スケジュール

操作試行の円滑な運営のため、試行参加者は、お持ちのEDINETコード末尾の数字ごとに、以下の試行実施日に操作を実施願います。

No.	試行実施日	試行参加者
1	2022年11月15日(火)	お持ちのEDINETコード末尾が「0」の提出者
2	2022年11月18日(金)	お持ちのEDINETコード末尾が「0」の提出者
3	2022年11月22日(火)	お持ちのEDINETコード末尾が「1」、「2」、「3」の提出者
4	2022年11月25日(金)	お持ちのEDINETコード末尾が「1」、「2」、「3」の提出者
5	2022年11月29日(火)	お持ちのEDINETコード末尾が「4」、「5」、「6」の提出者
6	2022年12月2日(金)	お持ちのEDINETコード末尾が「4」、「5」、「6」の提出者
7	2022年12月6日(火)	お持ちのEDINETコード末尾が「7」、「8」、「9」の提出者、及びNo.1～6において十分に試行できなかった提出者
8	2022年12月9日(金)	EDINETコード末尾が「7」、「8」、「9」の提出者、及びNo.1～7において十分に試行できなかった提出者

提出者向け操作試行のご案内

■ 操作試行環境

操作試行環境のURLは、後日ご案内します。

なお、操作試行期間中、提出サイトだけでなく、閲覧サイトもログインが必要となります。

- 画面及び操作性は、2022年9月30日(金)に金融庁ウェブサイトに掲載した操作ガイドでご確認いただけます。

提出者向け操作試行のご案内

■ 質問・問合せ先

操作試行期間中（2022年11月15日(火) から2022年12月9日(金)まで）の質問・問合せは、メールで受け付けます。発生日時、画面名、利用者のユーザID、発生事象をメール本文に記載し、以下のメールアドレスに送付してください。

メールアドレス: edinet-support@cec-ltd.co.jp

EDINETにログインできない、画面が表示されない等、システムに関して急を要する連絡が必要な場合は、以下の電話番号までご連絡ください。

緊急連絡先電話番号： **046-255-2781**

- ※ 質問等の受付及び回答作業のため、メールアドレス等の個人情報を扱います。本個人情報は質問等の受付及び回答作業にのみ使用します。
- ※ 書類提出操作等のシステムに関する質問等について回答します。法令等についてのご質問等には回答いたしかねますのでご了承ください。

■ 受付時間

操作試行期間中の、平日（土日及び祝日を除く）9時～17時

■ FAQ

操作試行期間中に寄せられたFAQは、操作試行環境の提出サイトのトップページに掲載予定です。

提出者向け操作試行のご案内

■ 操作試行環境のユーザ情報についての留意事項

操作試行環境で使用するユーザID、パスワード及び多要素認証について、以下の点にご留意ください。

- 操作試行環境のユーザID、パスワードは、2022年9月16日（金）時点で現行EDINETに登録されているものをご利用ください。
 - ※ マスタユーザのパスワードが分からない操作試行参加者は、パスワード初期化を行いますので、前ページに記載の質問・問合せ先にご連絡願います。
 - ※ サブユーザの追加やパスワードの再発行は、操作試行環境上でマスタユーザにおいて実施することができます。
- 初回のログイン時は、パスワードの変更、及び追加機能である多要素認証の登録が必要です。次期EDINETの書類提出操作ガイド（案）「1章 EDINETの基本操作」の「3-1 ログイン」に沿って登録してください。
- 変更したパスワード、多要素認証の情報は、操作試行環境に限られ、現行EDINETや、2023年1月4日(水)に稼働予定の次期EDINETには反映されません。

提出者向け操作試行のご案内

■ 操作試行についての留意事項

- あくまで操作試行であり、金融商品取引法上の書類提出ではありませんのでご注意ください。
- 操作試行環境で本登録提出を行った書類は、他の参加者にも閲覧可能になるため、閲覧されても問題がない書類を使用してください。
- 電子開示システム届出書や電子開示システム変更届出書等、システムから出力される帳票を誤って財務(支)局、沖縄総合事務局に送付しないようご留意願います。

提出者向け操作試行のご案内

■ 操作試行環境のその他留意事項

- 書類提出通知メール等、メール通知の機能は現行EDINETとの誤認を避けるため停止しています。
- 操作試行環境は、2022年9月16日(金)時点のデータに、開示対象になっていない個人情報をマスキングしています。

提出者情報	
提出者名	株式会社エディネット
提出者名(英字)	
提出者名(ヨミ)	カブシキガイシャエディネット
代表者役職	代表取締役
代表者氏名	山田 操作試行
郵便番号	000-0000
本店所在場所又は所在場所	東京都渋谷 所在地
電話番号	00-0000-0001

事務連絡者情報	
法人名	
部署	経理部
役職	
氏名	山田 操作試行
郵便番号	000-0000
所在場所	東京都渋谷 事務連絡者所在地
電話番号	00-0000-0001
FAX番号	
E-Mailアドレス	edinet@developer.local

提出書類ヘッダ作成画面	
企業内容等の開示に関する内閣府令	
様式名	有価証券通知書
様式(号)	第一号様式
書類提出担当者	山田 操作試行
資本金	百万円
上場区分	上場 ▼
募集または売出しの別	募集 ▼
有価証券の種類	株式 ▼

5.スケジュール等

スケジュール等

本節では、次の内容について説明します。

- ・ 本番移行スケジュール
- ・ 全文検索画面の制限事項

本番移行スケジュール

次期EDINETの稼働開始は2023年1月を予定しています。

次期システム稼働後に、現行システムと並行運用する予定はありません。

対象者	2022年			2023年	
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月
提出者		<p style="text-align: center;">★</p> <p style="text-align: center;">全体説明会 (2022年9月22日(木) オンライン開催)</p> <p style="text-align: center;">★</p> <p style="text-align: center;">操作ガイドの掲載 (2022年9月30日(金))</p> <p style="text-align: center;">★</p> <p style="text-align: center;">提出者向け説明会 (2022年10月14日(金)、10月21日(金)オンライン開催)</p>	<p style="text-align: center;">➡</p> <p style="text-align: center;">提出者操作試行期間 (2022年11月15日(火)～12月9日(金))</p>	<p style="text-align: center;">★</p> <p style="text-align: center;">次期EDINET稼働開始 (2023年1月4日(水))</p>	

全文検索画面の制限事項

閲覧サイトの全文検索機能のうち、目次検索機能は、現在見直し中のため、次期EDINET稼働後、当面の間は利用できません。

利用開始時期は2023年3月頃を予定しています。

なお、目次検索機能以外の全文検索機能は利用可能です。

The screenshot displays the '書類全文検索画面' (Document Full-text Search Screen) with the following elements:

- 現在指定している検索条件** (Currently specified search conditions):
 - Text input field labeled '文字列' (Character string) with a '検索' (Search) button to its right.
- Document type selection:
 - Radio buttons for: 提出本文書 (Submitted document), 監査報告書 (Audit report), 代替書面・添付文書 (Alternative document/Attachment), 提出本文書(英文) (Submitted document in English).
- 書類情報を指定する** (Specify document information):
 - Radio buttons for document type: 書類種別 (Document type), ※書類種別を指定しない (Do not specify document type), ○書類種別を指定する (Specify document type).
 - '検索' (Search) and 'クリア' (Clear) buttons.
 - '閉じる' (Close) button.
- 書類提出者情報を指定する** (Specify document submitter information):
 - '開く' (Open) button.
- 有価証券発行者情報を指定する** (Specify issuer information):
 - '開く' (Open) button.
- ファンド情報を指定する** (Specify fund information):
 - '開く' (Open) button.